

いきいきと 心ゆたかに たくましく

香川県立香川中部支援学校のホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和36年中国・四国で初めての障害のある児童生徒の学校として設立された、香川県立養護学校を源としています。その後、養護学校義務制に伴い、昭和54年、知的障害のある児童生徒を対象とした香川県立香川中部養護学校として開校いたしました。平成2年には、早期教育の充実のため幼稚部が設置され、4つの部から成る現在の姿になりました。

また、島しょ部をはじめとする通学困難な児童生徒のために寄宿舎が設置されており、舎生は、集団生活を通して、寄宿舎指導員のもと社会的自立に向けた力を身につけています。

そして、令和5年度から校名が「香川中部支援学校」になりました。また、新設された香川県立小豆島みんなの支援学校の中に、本校の高等部分教室も設置されました。香川中部養護学校の伝統「中部魂」を引き継ぎながら、香川中部支援学校としての新たな歴史をつくってまいります。

本校の校訓は、「いきいきと 心ゆたかに たくましく」です。

「いきいきと」とは、子どもたちが、明るく元気に伸び伸びと活動する、

「心ゆたかに」とは、人として大切なやさしさや思いやり、感謝の心をもつ、

「たくましく」とは、社会の一員として、可能な限り社会的、職業自立に努め、人として豊かに生きることを願っています。

そのために、子どもたちのよさや可能性を伸ばし、子どもたちが自信をもって活動に取り組み、自己肯定感や自己有用感が高まるよう、また、多くの方々とふれあい、つながり、子どもたちの『なりたい自分』が叶えられるよう努めてまいります。

そして、ご家庭や関係機関、地域の皆様と連携しながら、子どもたち一人ひとりが、『今日に満足し、明日を楽しみに待つ』学校生活をつくっていきたいと思います。

今後とも、本校の教育活動に一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

令和6年4月

香川県立香川中部支援学校

校 長

藤田 明

